

アフターコロナと

屋外レジャーへのマーケティング

2024年1月

濱岡豊研究会22期

慶應義塾大学商学部3年 後藤日奈子

# 目次

---

1.研究の目的

2.二次データ

3.分析の流れ

4.単純集計

5.分析結果

6.考察

7.提言

8.参考文献

# 1.研究の目的

---

**分析内容:**コロナ前後において、屋外レジャー施設の利用度にはどのような影響が出ているのかを日本国内旅行を対象とし検証、分析する。

**目的:**コロナが流行したことにより、三密を避けるために、キャンプや公園など、屋外でのレジャーが流行した。そこで、コロナや人々の内的要因の違いがどのように屋外レジャー施設の利用に影響を及ぼすのか研究する。また、アフターコロナの時代に屋外レジャー施設側はどのような方策をとっていくべきなのかを提言する。

## 2.二次データ

### ・日本人国内旅行消費額の推移

コロナを経て、少しずつ消費額は回復傾向にあることがわかる。このままのペースでいくと、コロナ前の2019年と同程度の推移まですぐに戻ると予測される。

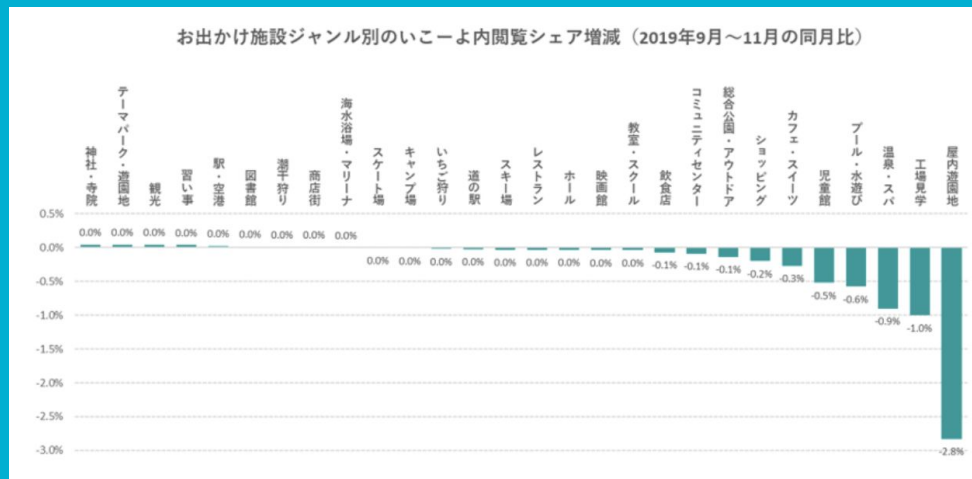
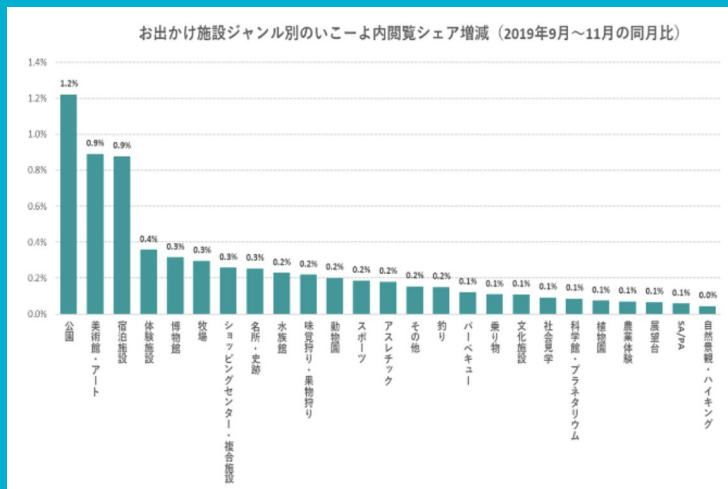


# ・アクセス数で比較するウィズコロナのおでかけ先

季節要因が少ない9～11月に絞ってコロナ前と比較した。

ウィズコロナでは「公園」が大きく増加した。3密回避の目的で身近なアウトドアである公園で遊ぶ機会が増加し、それがウィズコロナになっても定着化した。「美術館・アート」などのジャンルはコロナ禍では屋内施設であることから自粛されていた傾向があり、その反動が出ているのではないか。

コロナ前と比べてお出かけが減っているのは「屋内遊園地」だが、少しずつ回復傾向にある。

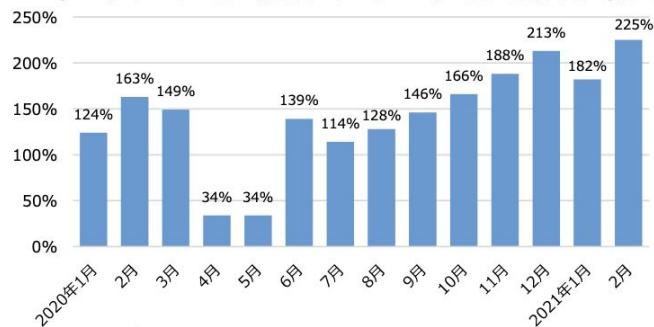


## ・アウトドア需要の増加

2020年と比べると、キャンプの平均予約数は大きく増加している。また、自然体験での消費単価も上昇傾向にある。

これらアウトドア施設や体験は三密が避けられるとしてコロナ禍からアフターコロナにかけて、需要が増加していった。また、仲の良い数名でキャンプを楽しんだり、ドライブインシアターで自分たちだけの空間を過ごしたり、少人数で特別な空間を満喫するという体験や施設を提供することで、高単価でも多くの人が高い満足度を実感している。

Ⅱ-40) キャンプ場 1 施設当たりの平均予約件数 (前年同月比)



資料：キャンプ場検索・予約サイト「なっぷ」データ

### 自然体験での消費単価向上



<湖畔での焚き火とキャンプ>



<ドライブインシアター>

- 琵琶湖畔にあるオートキャンプ場では、感染症拡大を受けてのニーズの高まりを受け、湖畔で焚き火がゆったり楽しめる施設の整備や、水上アクティビティ等のコンテンツを開発し、高単価を実現。
- 通常オフシーズンとなる冬に、3密対策にも対応したドライブインシアターを初開催。

18

# 3.分析の流れ

- ・使用するデータ:2023年11月作成。収集日2020年7月。
- ・コロナ前後の旅行や観光に対するリスク認知や態度に関するアンケート サンプル。(日本、1,111件)

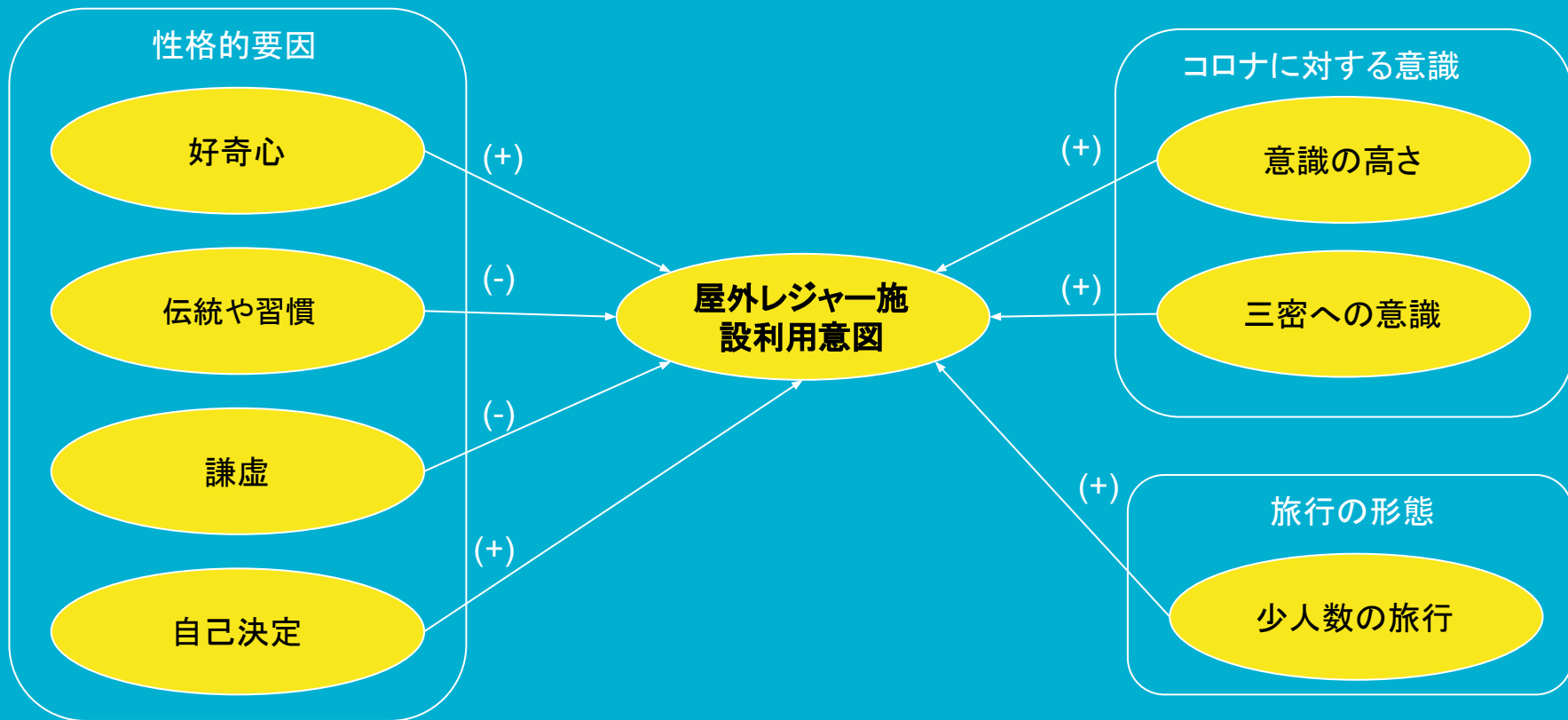
## 3.1 データ収集時のコロナの感染状況(2020年7月)

---

- ・大都市圏を中心に感染が急拡大し、コロナの新規感染者数が7月末には1500人 を超える。(東京では400超、大阪では200超)国内の累計感染者は空港検疫など も含め、3万人を突破。
- ・沖縄県では県独自の緊急辞退宣言を発出する。
- ・その一方で、Go Toトラベルキャンペーンが始まり経済の回復と医療の逼迫と で、非常に難しい判断が日々審議されている。



## 3.2 仮説の枠組み



# •性格的要因に関する仮説

仮説番号	仮説内容	質問番号
H1.1	刺激を求めるような好奇心の強さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	q5a_2
H1.2	伝統や習慣への重要視は屋外レジャー施設利用意図と負の相関がある。	q5a_6
H1.3	謙虚であることでの重要視は屋外レジャー施設利用意図と負の相関がある。	q5b_4
H1.4	自己決定の強さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	q5b_6

# ・コロナへの意識に関する仮説

---

仮説番号	仮説内容	質問番号
H2.1	コロナに対する意識の高さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	q19_2
H2.2	三密への意識の高さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	q10_5

# ・旅行の形態に関する仮説

---

仮説番号	仮説内容	質問番号
H3.1	少人数での旅行を好む度合いは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	q4

## 4.単純集計

人によって大切なことは異なります。次のような人がいるとすれば、それぞれのあり方について、あなたはどの程度当てはまりますか？

q5a\_2. 刺激のある生活が大切な人

<1>全く当てはまらない (92票)

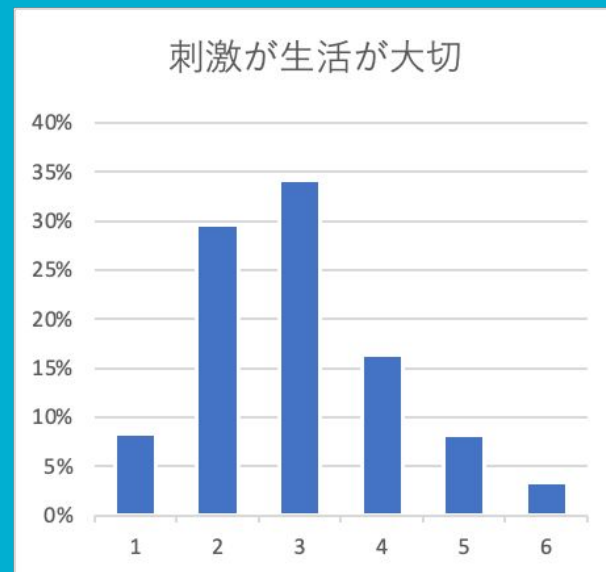
<2>当てはまらない (329票)

<3>少し当てはまらない (380票)

<4>少し当てはまる (181票)

<5>当てはまる (91票)

<6>非常によく当てはまる (38票)



人によって大切なことは異なります。次のような人がいるとすれば、それぞれのあり方について、あなたはどの程度当てはまりますか？

q5a\_6. 伝統、宗教や家族によって受け継がれてきた習慣に従うことが大切な人

<1>全く当てはまらない(117票)

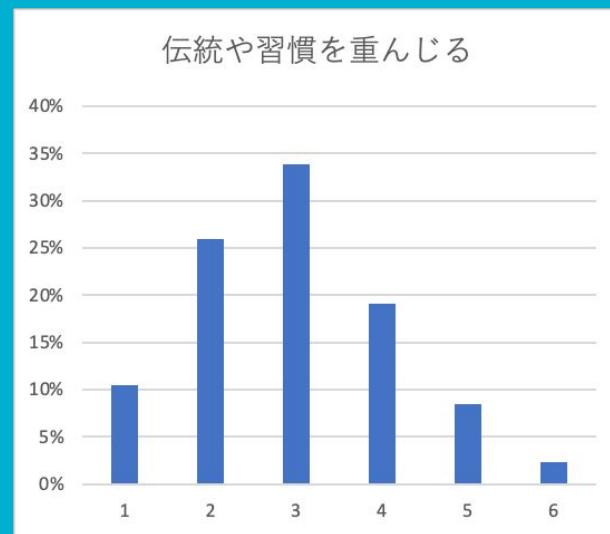
<2>当てはまらない(288票)

<3>少し当てはまらない(376票)

<4>少し当てはまる(212票)

<5>当てはまる(93票)

<6>非常によく当てはまる(25票)



人によって大切なことは異なります。次のような人がいるとすれば、それぞれのあり方について、あなたはどの程度当てはまりますか？

q5b\_4. 謙虚で控えめであることが大切と考える人

<1>全く当てはまらない (40票)

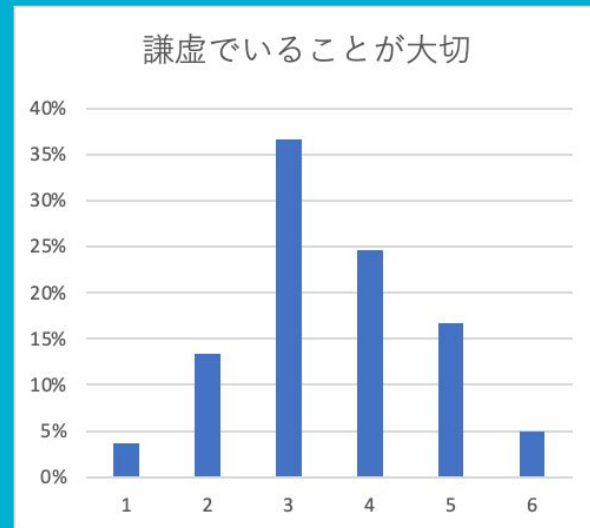
<2>当てはまらない (149票)

<3>少し当てはまらない (408票)

<4>少し当てはまる (273票)

<5>当てはまる (185票)

<6>非常によく当てはまる (56票)



人によって大切なことは異なります。次のような人がいるとすれば、それぞれのあり方について、あなたはどの程度当てはまりますか？

q5b\_6.自分の人生について自分で意思決定をすることが大切な人

<1>全く当てはまらない (34票)

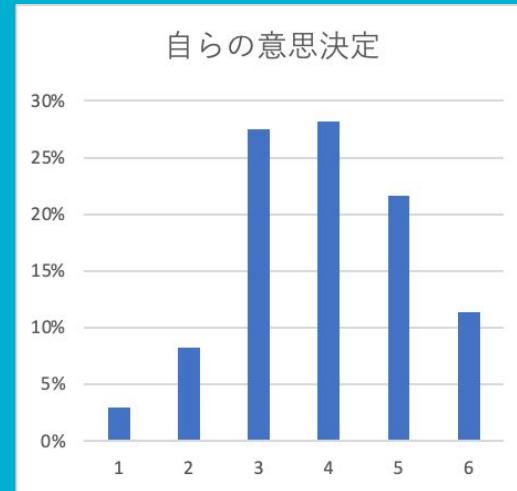
<2>当てはまらない (91票)

<3>少し当てはまらない (306票)

<4>少し当てはまる (313票)

<5>当てはまる (240票)

<6>非常によく当てはまる (127票)





—  
次の記述についてどのくらいあてはまりますか？

q19\_2. 公共の場で社会的距離を保つように気をつけている。もし距離を保てないようならば、その場を去るようにしている

<1>まったくあてはまらない(17票)

<2>あてはまらない(29票)

<3>あまりあてはまらない(66票)

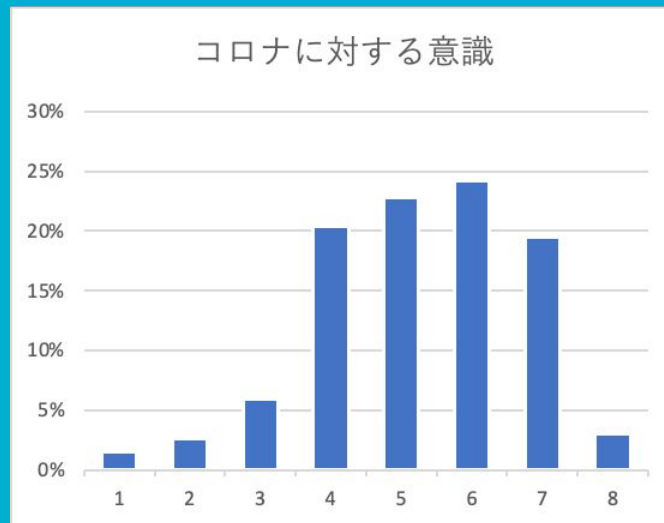
<4>どちらとも言えない(227票)

<5>ややあてはまる(253票)

<6>あてはまる(269票)

<7>とてもあてはまる(217票)

<977>わからない(33票)



今年の休暇の旅行先を選ぶ際に、次の項目は、昨年比べてどのくらい重要ですか？

q10\_5.これから計画する旅行では、人気があり混雑する旅行先ではなく、人混みが少ない旅行先を選ぶだろう

<1>まったくあてはまらない(23票)

<2>あてはまらない(38票)

<3>あまりあてはまらない(56票)

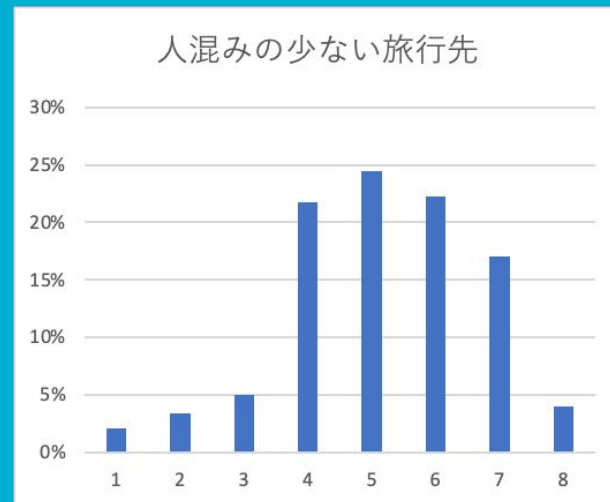
<4>どちらとも言えない(241票)

<5>ややあてはまる(272票)

<6>あてはまる(248票)

<7>とてもあてはまる(189票)

<8>わからない(44票)

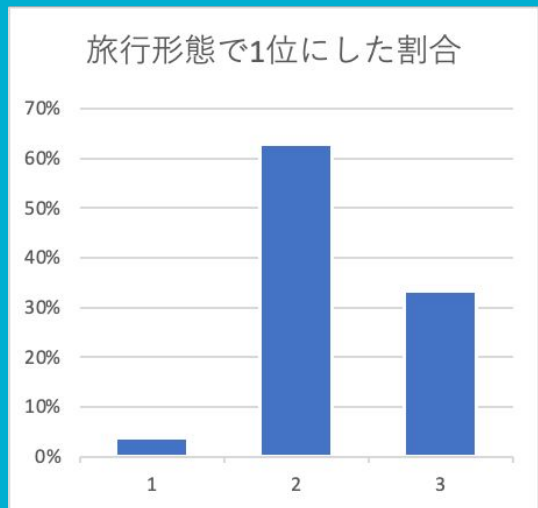


q4.あなたが、通常の旅行で好まれる旅行形態についてお伺いします。下記の旅行形態について、もっとも好まれるものから順位をつけてください。

<1>大人数(9人以上)の旅行(41票)

<2>家族や親しい友人との少人数での旅行(699票)

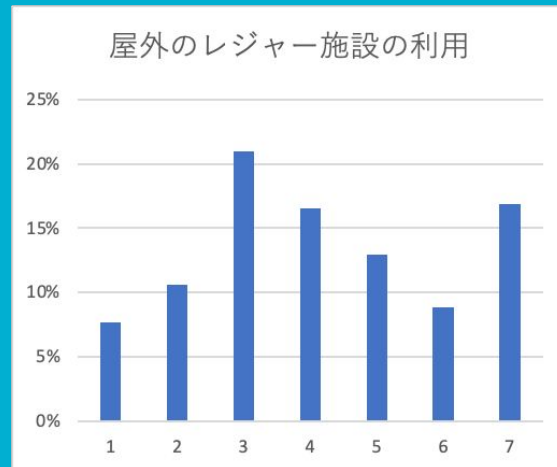
<3>一人旅または特別な人との旅行(371票)



日本国内で次のサービスをどの時点で利用し始めますか？次の選択肢の中からあなたの行動・意向にもっとも近いものを選んでください。

#### q12\_6. 屋外の展示会場やアトラクション施設

- <1>サービスが可能になればすぐに利用する(86票)
- <2>友人、家族や同僚に誘われたら3ヶ月以内に利用する(118票)
- <3>メディア上で一般の人たちが問題なく利用しているようならば、自分も3ヶ月以内に利用する(233票)
- <4>政府が新型コロナによる感染者数が国内ではなくなったと発表したら利用する(183票)
- <5>新型コロナウイルスのワクチンまたは治療薬が開発されたら利用する(143票)
- <6>世界保健機関が新型コロナウイルスによる感染者数が世界的になくなったと発表したら利用する(98票)
- <7>国内で新型コロナウイルスの感染リスクが完全になくなっても、安全とは思えないので、これらのサービスは利用しない(188票)



# 5.分析結果

q12にある屋外レジャー施設利用意図に対する質問と、その他仮説と対応している質問との回答の相関関係について、回帰分析を行った。

## 屋外レジャー施設利用意図と性格的要因

被説明変数:屋外レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.995	0.141	28.306	<2e-16 ***
好奇心(q5a_2)	0.036	0.024	1.520	0.129
伝統や習慣(q5a_6)	0.044	0.024	1.799	0.072
謙虚(q5b_4)	0.025	0.026	0.958	0.338
自己決定(q5b_6)	-0.253	0.027	-9.396	<2e-16 ***

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.02136, Adjusted R-squared: 0.02042

F-statistic: 22.74 on 4 and 4167 DF, p-value: < 2.2e-16

## 屋外レジヤ施設利用意図とコロナへの意識

被説明変数:屋外レジヤ施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	2.517	0.142	17.728	< 2e-16 ***
意識の高さ(q19_2)	0.023	0.025	0.936	0.349
三密への意識(q10_5)	0.113	0.024	4.724	2.39e-06 ***

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.008403, Adjusted R-squared: 0.007897

F-statistic: 16.61 on 2 and 3919 DF, p-value: 6.583e-08

## 屋外レジャー施設利用意図と旅行の形態

被説明変数:屋外レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.108	0.075	41.676	<2e-16 ***
少人数の旅行(q4)	0.088	0.041	2.123	0.033 *

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%>\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.001079, Adjusted R-squared: 0.0008399

F-statistic: 4.506 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.03383

## 屋外レジャー施設利用意図と性別、年齢

被説明変数:屋外レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.210	0.098	32.842	<2e-16 ***
性別	0.028	0.062	0.458	0.647

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%>\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 5.03e-05, Adjusted R-squared: -0.0001895

F-statistic: 0.2098 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.647

被説明変数:屋外レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.282	0.076	43.012	<2e-16 ***
年齢	-0.009	0.021	-0.431	0.667

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%>\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 4.453e-05, Adjusted R-squared: -0.0001953

F-statistic: 0.1857 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.6665



## 屋外レジャー施設利用意図まとめ

被説明変数:屋外レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.162	0.214	14.814	<2e-16 ***
好奇心(q5a_2)	0.025	0.026	1	0.318
伝統や習慣(q5a_6)	0.014	0.025	0.542	0.588
謙虚(q5b_4)	-0.027	0.027	-0.979	0.328
自己決定(q5b_6)	-0.269	0.028	-9.533	<2e-16 ***
意識の高さ(q19_2)	0.076	0.026	2.976	0.0029**
三密への意識(q10_5)	0.14	0.024	5.826	6.13e-09***
少人数の旅行(q4)	0.082	0.042	1.949	0.051.
性別	0.015	0.063	0.236	0.813
年齢	-0.026	0.023	-0.979	0.328

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.03578, Adjusted R-squared: 0.03356

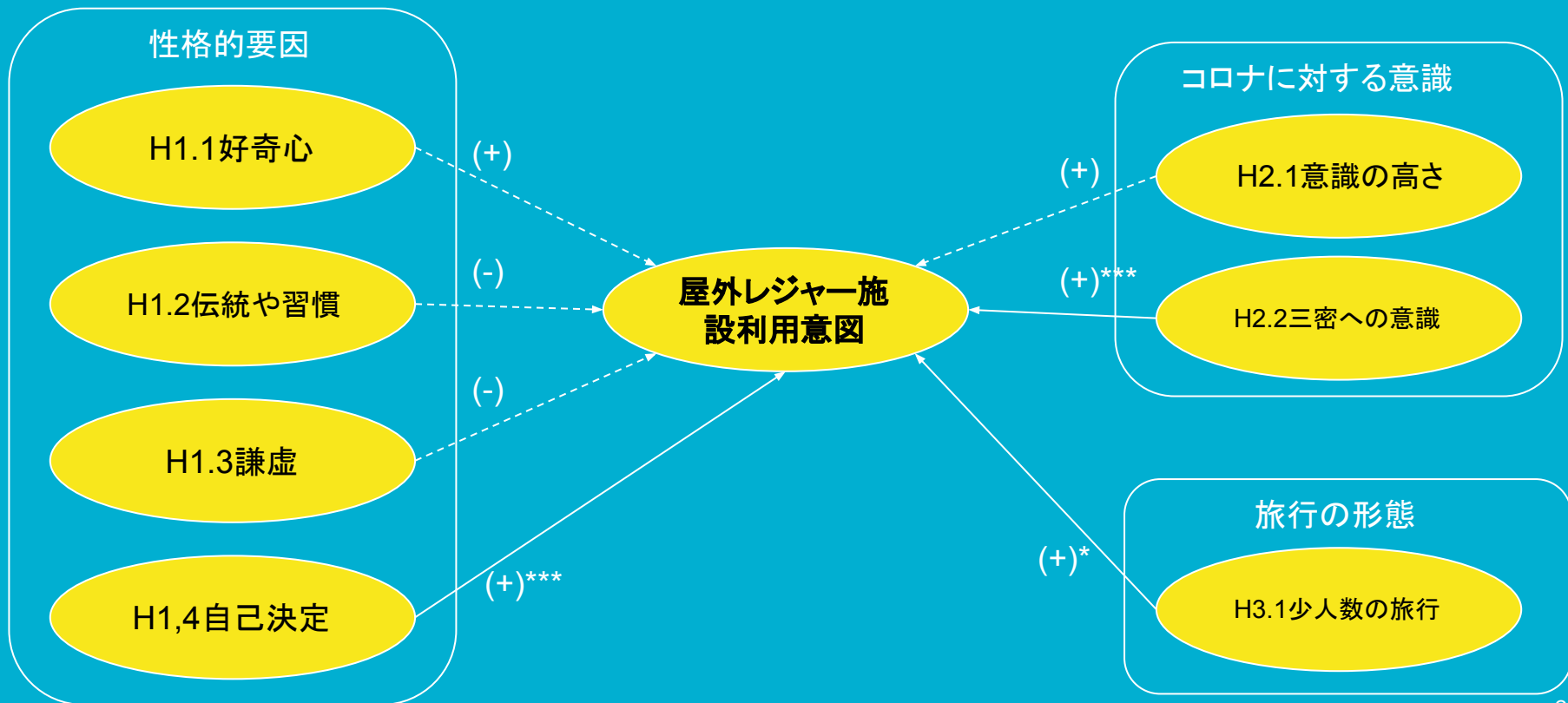
F-statistic: 16.13 on 9 and 3912 DF, p-value: < 2.2e-16

## 検証結果一覧(屋外レジャー施設利用意図)

仮説番号	仮説	検証結果
H1.1(+)	刺激を求めるような好奇心の強さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	棄却
H1.2(-)	伝統や習慣への重要視は屋外レジャー施設利用意図と負の相関がある。	棄却
H1.3(-)	謙虚であることでの重要視は屋外レジャー施設利用意図と負の相関がある。	棄却
H1.4(+)	自己決定の強さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	採択(0.1%水準)
H2.1(+)	コロナに対する意識の高さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	棄却
H2.2(+)	三密への意識の高さは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	採択(0.1%水準)
H3.1(+)	少人数での旅行を好む度合いは屋外レジャー施設利用意図と正の相関がある。	採択(5%水準)

# 検証結果一覧のパス図

実線は採択、破線は棄却(0.1%水準\*\*\*、5%水準\*)



# 追加分析(屋内レジャー施設利用意図)

## 屋内レジャー施設利用意図と性格的要因

被説明変数:屋内レジャー施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	4.069	0.139	29.345	<2e-16 ***
好奇心(q5a_2)	-0.042	0.024	-1.807	0.071
伝統や習慣(q5a_6)	0.060	0.024	2.517	0.012*
謙虚(q5b_4)	0.040	0.025	1.554	0.120
自己決定(q5b_6)	-0.162	0.026	-6.117	1.04e-09 ***

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.01151, Adjusted R-squared: 0.01056

F-statistic: 12.13 on 4 and 4167 DF, p-value: 8.44e-10

## 屋内レジヤ施設利用意図とコロナへの意識

被説明変数:屋内レジヤ施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	2.201	0.138	15.957	< 2e-16 ***
意識の高さ(q19_2)	0.106	0.024	4.414	1.04e-05***
三密への意識(q10_5)	0.151	0.023	6.487	9.85e-11 ***

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%>\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.02636, Adjusted R-squared: 0.02586

F-statistic: 53.04 on 2 and 3919 DF, p-value: < 2.2e-16

## 屋内レジヤ施設利用意図と旅行の形態

被説明変数:屋内レジヤ施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.431	0.073	47.057	<2e-16 ***
少人数の旅行(q4)	0.094	0.041	2.333	0.019 *

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%>\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.001304, Adjusted R-squared: 0.001064

F-statistic: 5.443 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.01969

## 屋内レジヤ施設利用意図と性別、年齢

被説明変数:屋内レジヤ施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.300	0.095	34.54	<2e-16 ***
性別	0.192	0.060	3.192	0.0014**

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.002438, Adjusted R-squared: 0.002199

F-statistic: 10.19 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.001422

被説明変数:屋内レジヤ施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	3.446	0.075	46.211	<2e-16 ***
年齢	0.042	0.021	2.044	0.041*

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.001001, Adjusted R-squared: 0.0007618

F-statistic: 4.18 on 1 and 4170 DF, p-value: 0.04097

## 屋内レジヤ-施設利用意図まとめ

被説明変数:屋内レジヤ-施設利用意図	Estimate	Std.Error	t value	Pr(> t )
説明変数(Intercept)	2.632	0.208	12.658	<2e-16 ***
好奇心(q5a_2)	-0.039	0.025	-1.555	0.12
伝統や習慣(q5a_6)	0.009	0.025	0.364	0.715
謙虚(q5b_4)	-0.012	0.027	-0.462	0.644
自己決定(q5b_6)	-0.213	0.028	-7.727	1.39e-14***
意識の高さ(q19_2)	0.144	0.025	5.755	9.35e-09***
三密への意識(q10_5)	0.174	0.023	7.396	1.71e-13***
少人数の旅行(q4)	0.099	0.041	2.391	0.017*
性別	0.124	0.061	2.023	0.043*
年齢	-0.006	0.022	-0.281	0.779

注)有意水準 0.1%=\*\*\* 1%=\*\* 5%=\* 10%=.

N=1,111, Multiple R-squared: 0.04791, Adjusted R-squared: 0.04572

F-statistic: 21.87 on 9 and 3912 DF, p-value: < 2.2e-16

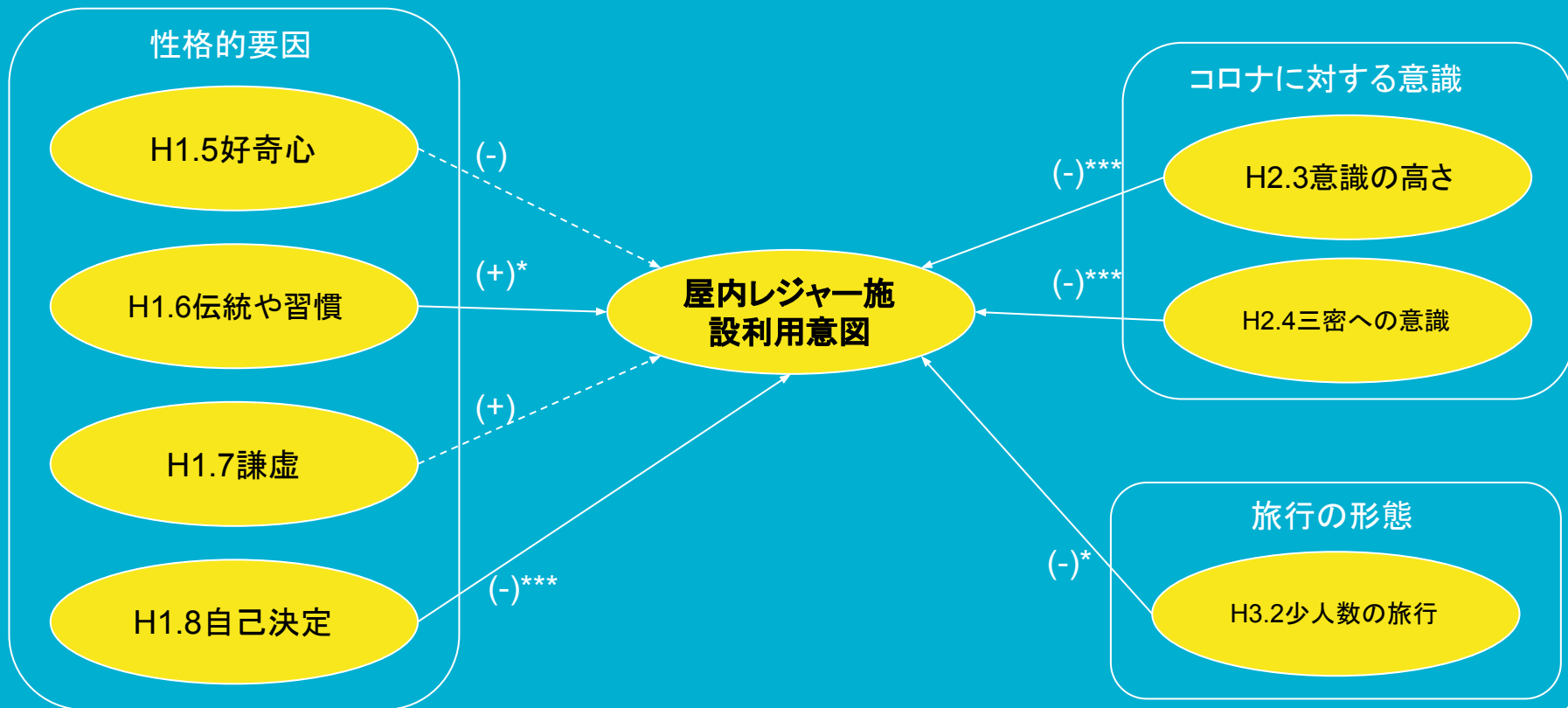


## 検証結果一覧(屋内レジヤ施設利用意図)

仮説番号	仮説	検証結果
H1.5(+)	刺激を求めるような好奇心の強さは屋内レジヤ施設利用意図と負の相関がある。	棄却
H1.6(-)	伝統や習慣への重要視は屋内レジヤ施設利用意図と正の相関がある。	採択(5%水準)
H1.7(-)	謙虚であることでの重要視は屋内レジヤ施設利用意図と正の相関がある。	棄却
H1.8(+)	自己決定の強さは屋内レジヤ施設利用意図と負の相関がある。	採択(0.1%水準)
H2.3(+)	コロナに対する意識の高さは屋内レジヤ施設利用意図と負の相関がある。	採択(0.1%水準)
H2.4(+)	三密への意識の高さは屋内レジヤ施設利用意図と負の相関がある。	採択(0.1%水準)
H3.2(+)	少人数での旅行を好む度合いは屋内レジヤ施設利用意図と負の相関がある。	採択(5%水準)

# 検証結果一覧のパス図

実線は採択、破線は棄却(0.1%水準\*\*\*、5%水準\*)



## 6.考察

---

今回の検証で、屋外レジャー施設利用意図と半分近くの仮説が棄却されるという結果になった。反対に、追加で行った屋内レジャー施設利用意図とは年齢や性別も含めて屋外レジャー施設よりも多くの相関関係が見られた。

その理由として2つ考えられる。まず1つ目は性格要因のところであげた4点は元々屋外レジャー施設を好むであろう性格として着目したが、それがコロナ感染拡大前後で利用意図が変化するとは考えにくいいため、多くの仮説が棄却されたのではないか。また2つ目としてはコロナ感染拡大により、三密の意識が高まったため、屋内レジャー施設の利用意図に関しては特にコロナへの意識というところで強い相関関係が現れたと考えられる。

## 屋内外の検証結果の比較

	屋外レジヤ施設	屋内レジヤ施設
説明変数(Intercept)	3.163***	2.632***
好奇心(q5a_2)	0.026	-0.039
伝統や習慣(q5a_6)	0.014	0.009
謙虚(q5b_4)	-0.027	-0.012
自己決定(q5b_6)	-0.269***	-0.213***
意識の高さ(q19_2)	0.076***	0.144***
三密への意識(q10_5)	0.140***	0.174***
少人数の旅行(q4)	0.082*	0.099**
性別	0.015	0.124**
年齢	-0.023	-0.006
number	3922	3922
R-squared	0.036	0.048

注) 有意水準 \*\*\* =  $p < 0.01$ ; \*\* =  $p < 0.05$ ; \* =  $p < 0.1$

# 7.提言

## ＜ホテルなどの宿泊施設に対して＞

コロナに対する意識は未だ高いと考えられるため、徹底的な衛生管理が必要。加えて屋外レジャー施設を好むような旅行客を取り込むためには、ラウンジの隣に焚き火を楽しめるようなテラスを設置したり、キャンプ用品の無料貸し出しを行ったりすることで、アウトドア需要に対応することができるのではないかな。

## ＜観光地などの施設に対して＞

ここでは屋外レジャー施設に対する提言として、車に乗ったままイルミネーションや観光施設の景色を楽しむことができるロードを設置することで、三密対策をしながら少人数で観光を楽しむことができるだろう。また、少人数で特別な空間を味わうことができることに対しては高単価でも高い満足度を実現することができるため、高級路線の施設や体験を新しく導入させることも効果的だと考えられる。

## ＜ツアーなどを開催する旅行会社に対して＞

アウトドア需要に関してはコロナ禍から年々上昇しており、加えて分析の結果から自分で意思決定ができることが屋外レジャー施設の利用意図にもつながることが判明したため、全ての工程が決まっているツアーよりも、人それぞれで組み合わせを考えながら観光ができるようなツアーを提供することで、ツアーを活用しながらアウトドアを楽しむ利用者が増加するのではないかと考える。

---

## 謝辞

本プロジェクトを行うにあたってデータを収集公開した  
Glückstad, F.K.(2022)にこの場を借りてお礼申し上げます。

# 参考文献

---

- ・Gluckstad, F. K. (2022), "Risk Perceptions, Attitudes, and Behavioral Intentions to Spend on Experiences in the Post-Corona Crisis: Data from Italy, Denmark, China, and Japan," Data Brief, 42, 108259.
- ・観光庁「令和3年版観光白書について」(令和3年6月)
- ・国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査2023年4-6月期」
- ・nippon.com「新型コロナウイルス感染症流行・7月の主な動き」  
<https://www.nippon.com/ja/japan-data/h00870/> (2023/12/25閲覧)
- ・いこーよ総研「ウィズコロナとなりお出かけ先のジャンルはどう変わった？」  
<https://research.iko-yo.net/solutions/research/8741.html> (2023/12/25閲覧)